

## 出前講座 報告書

開催日時	令和6年2月13日(火) 13時30分～15時15分
開催場所	伊賀市総合福祉会館
申請団体等名称	母子寡婦福祉会
テーマ	ひとり親家庭の困りごとについての意見交換
委員会等名称	教育民生常任委員会
出席議員	西口和成(委員長) 西條エリ子(副委員長) 中谷一彦 桃井弘子 釜井敏行 北山太加視 (記録) 西田方計
<p><b>【講座・意見交換等の主な内容・対応等】</b></p> <p>○現在の成人式を「20歳」にして開催・運営することができないのか。5月実施は弊害が多い。 →成人式開催年齢の是非については、(市長への署名提出ならびに議会への請願も含め)議会でも十分議論したが、市の方針は変わらず現在では高校卒業後すぐの連休中(5月4日)に成人式を実施することになっている。参加率はよかったが保護者の送り迎えが多かったし、経済的な面でもひとり親など家庭による格差が気になる。先日の中学生議会の質問にもあったが市長は法律上の答弁で押していた。ただし20歳で集いを自主的に開くことについては市が支援をするとなっている。なし崩しが進み、あきらめ、そして無関心となっていく流れはこの件に限らず良いことではないと考える。</p> <p>○学童保育(施設による受け入れ時間の違い等)について →学童(放課後児童クラブ)のニーズが増えている。小学校区ごとの各地域の施設のキャパシティやニーズならびに経営体の運営(資格保持者、対応できる人数など)により異なるため、市全域での一元化は困難だが、「放課後子ども教室」のような地域力による持続可能な支援も含め、PTA連合会等との話し合いにより要望を声にして挙げていただくことが大切である。</p> <p>○本庁舎前のラウンドアバウトなどの交通事情、お買い物や外出支援などについて →庁舎の駐車場も含め最近は大きな事故はないが、お互いルールになじんで譲り合っていければと考える。コミュニティバスやお買い物バス、JAの移動販売、あるいはヘルパーによる送迎なども一長一短があるが、コミュニティ力を強めるつながりづくりが必要と認識している。</p> <p>○ひとり親家庭への災害に対する支援や対策、低学年からの性の教育などについて →たとえば生理用品は学校にも用意されている。小学校でも親子で性の学習をするなどしているが、親子のつながりコミュニケーションが大切と認識している。</p> <p>○自分たちの組織も以前は会員の生活実態に基づく声が届いていたが、対象となる会員の情報が行政からいただけないなど状況がつかみにくくなっている。伊賀市と名張市</p>	

の違いも気になる。

→プレミアム付き商品券のことなど必要な情報が届いているか、また補助金の効果が出ているかなど、議会としてもチェックに取り組みたい。また貴組織においても全国組織として声を挙げていただきたい。

伊賀市議会議長 様

令和6年2月16日

議会出现前講座実施要項第11条第1項の規定により提出します。

教育民生常任委員長 西口 和成